

床 - 内壁 SX (AX) 56A

下地仕上げ

1. 建物のクリアランスは、図1、表1のように仕上げてください。それぞれの規定値よりも狭い場合には変形性能が確保できなくなる場合があります。
2. フレーム取付面の凹凸は極力避けて下さい。

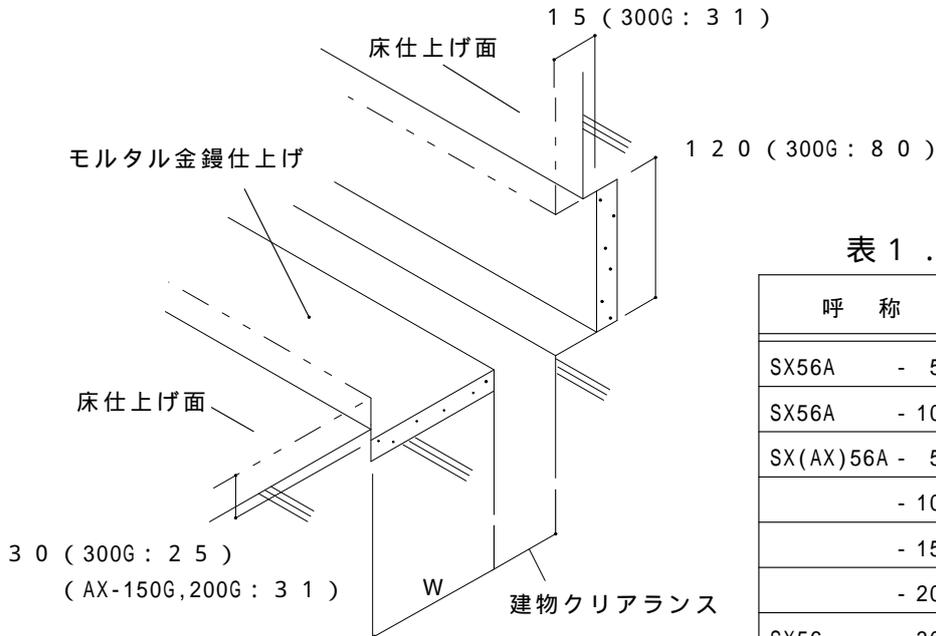


表1. W寸法表

呼 称	W 寸法
SX56A - 50F	90
SX56A - 100F	190
SX(AX)56A - 50G	50
- 100G	75
- 150G	100
- 200G	125
SX56 - 300G	125

図1

取付準備

製品は使用場所別に手配書の部番に合わせて梱包出荷されます。取付前に部品ユニットがすべて揃っていることを確認してください。

取付は次の順序で行ってください。

1. 墨打ち

壁仕上げより1000mm逃げた位置、床仕上げより1000mm上がった位置に図2のように逃げ墨を打ってください。

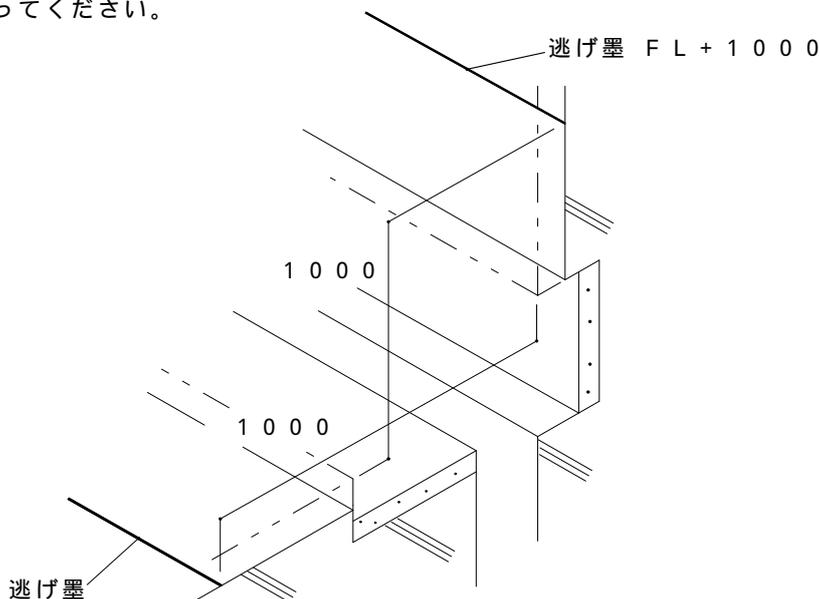


図2

逃げ墨を基準にフレームを取付するためのレベル墨を打ちます。レベル墨の位置（A 1 , A 2 寸法）は図 3 及び表 2 を参照して下さい。

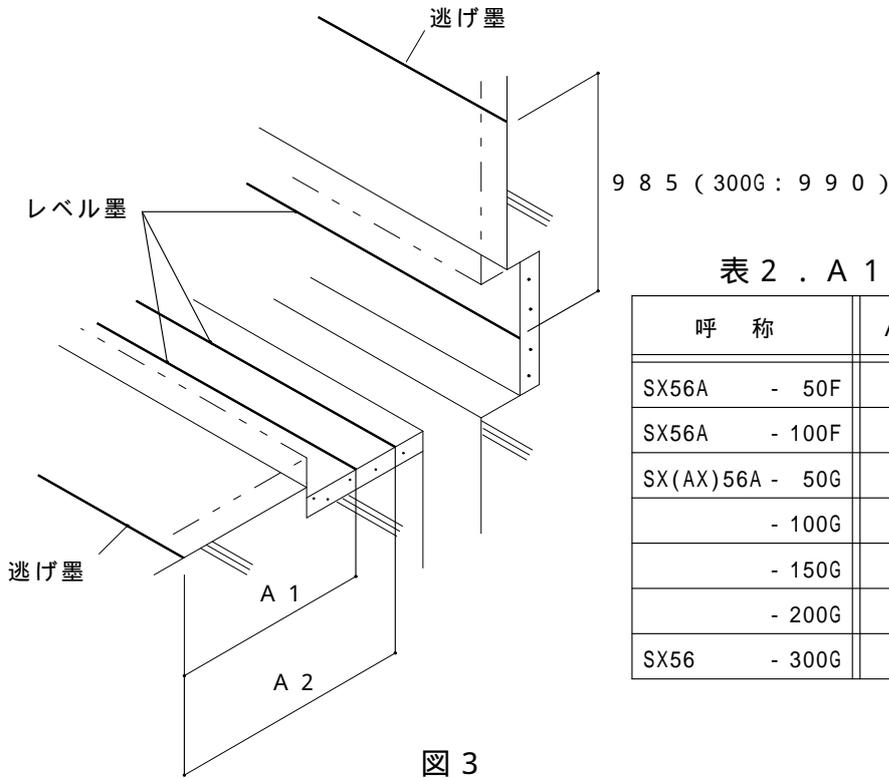


表 2 . A 1 , A 2 寸法表

呼 称	A 1 寸法	A 2 寸法
SX56A - 50F	910	
SX56A - 100F	770	850
SX (AX) 56A - 50G	925	
- 100G	860	
- 150G	780	820
- 200G	720	770
SX56 - 300G	620	670

図 3

2 . 壁側フレームの取付

フレームに穴あけられた穴をレベル墨に合わせ 8、深さ 6 0 mm の下穴をあけます。付属のフッシャープラグを下穴に挿入し、固定ネジでフレームを固定します。（図 4）

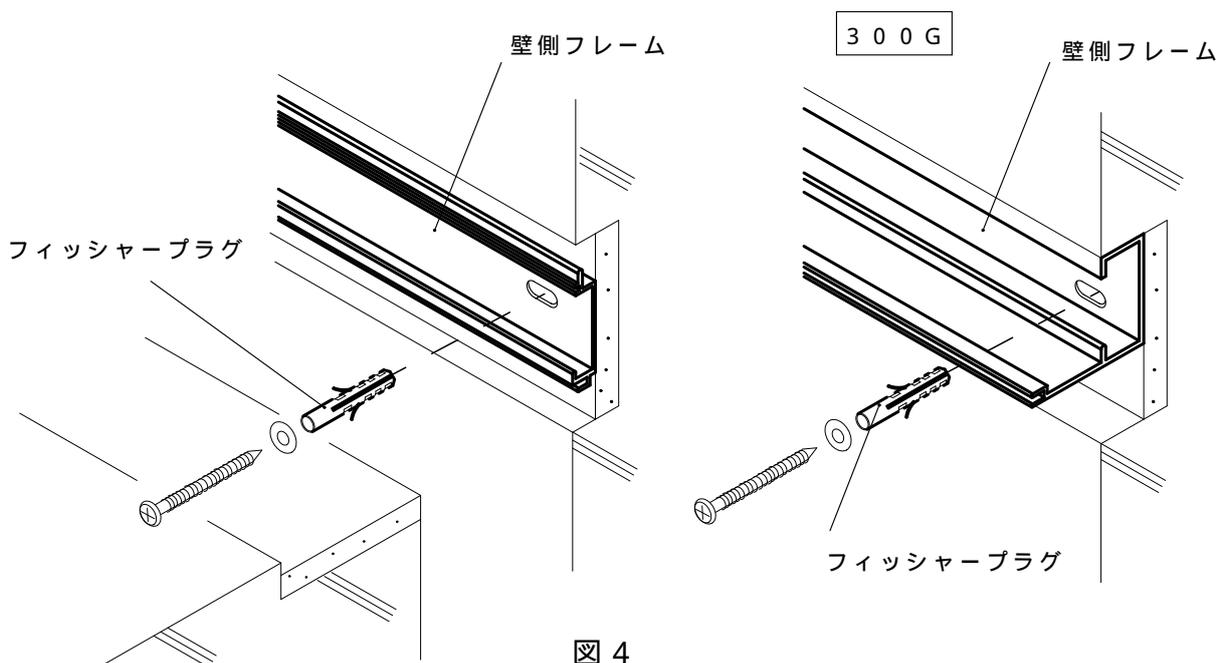


図 4

3. 床用フレームの取付

フレームにあげられた穴をレベル墨に合わせ 8、深さ 60 mm の下穴をあけます。付属のフッシャープラグを下穴に挿入し、固定ネジでフレームを固定します。(図 5)

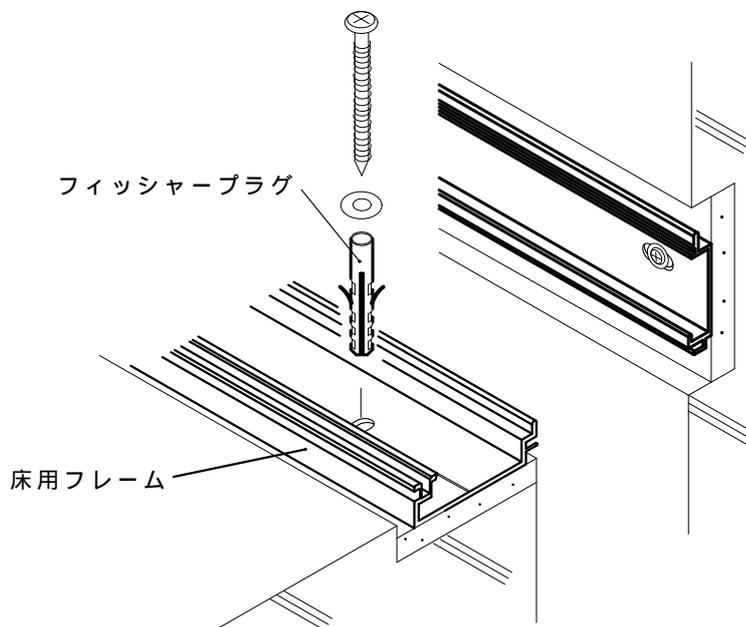


図 5

4 - 1. 補助シートの取付

壁側フレーム、床用フレームの A 部に補助シートを差し込みます。(図 6)

注) 直線距離が長い場合、先に補助シートを垂らしてから A 部に差し込むとよじれの原因となり、施工後外れてしまう場合があります。補助シートはロールのまま上から順に左右対象に差し込んで下さい。

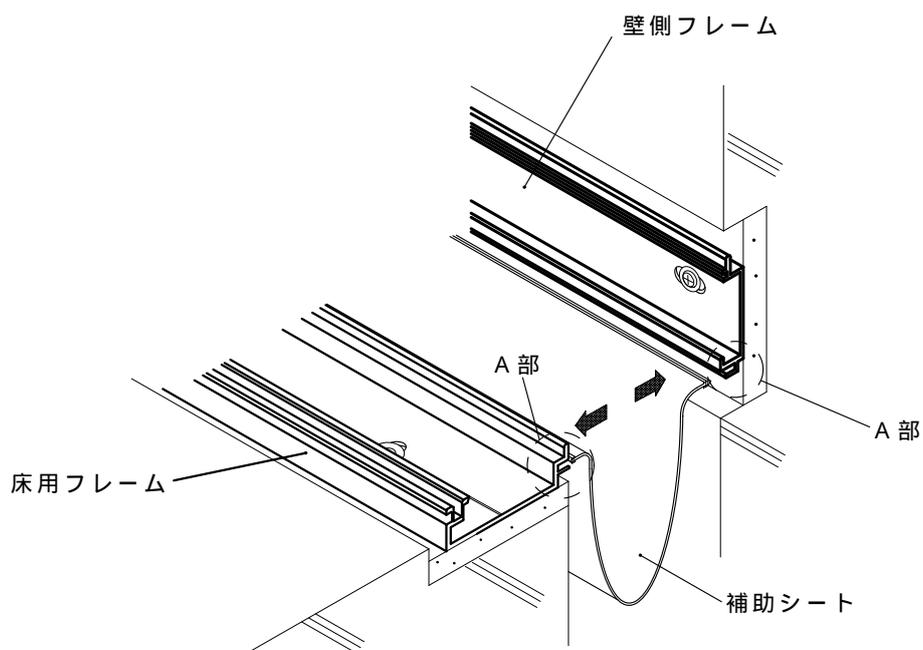


図 6

4 - 2 . 外廊下の場合補助シートの取付

補助シートを床用フレーム・壁用フレームの下にはさみ込み、フィッシャープラグと固定を用いてフレームを固定します。

注) フレーム固定後、固定ネジ頭部のコーキングを行います。(コーキング材は、別途です。)

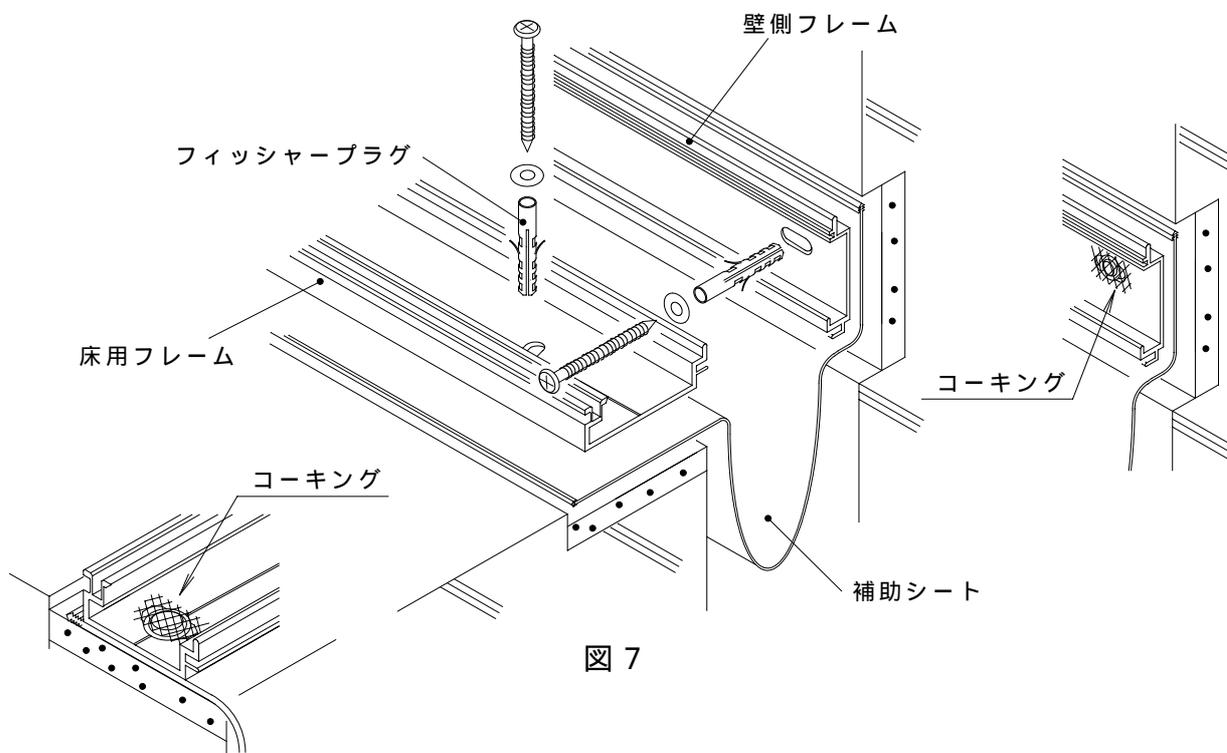


図 7

5 . カバーの取付

スライドプレートをフレームにのせ、カバー A の穴に従いの皿テクスビスで固定します。(下穴不要)

カバー B の穴を基準にフレームに 3 . 6 の下穴をあけ、皿ビスで固定して下さい。(図 8) A

Xタイプには、壁側フレームにクリップが付いておりカバー B を嵌合させるだけで固定できます。

注) 50F, 100F, 300Gタイプについては、カバー A の穴を基準にフレームに 3 . 6 の下穴をあけ、皿小ネジで固定して下さい。

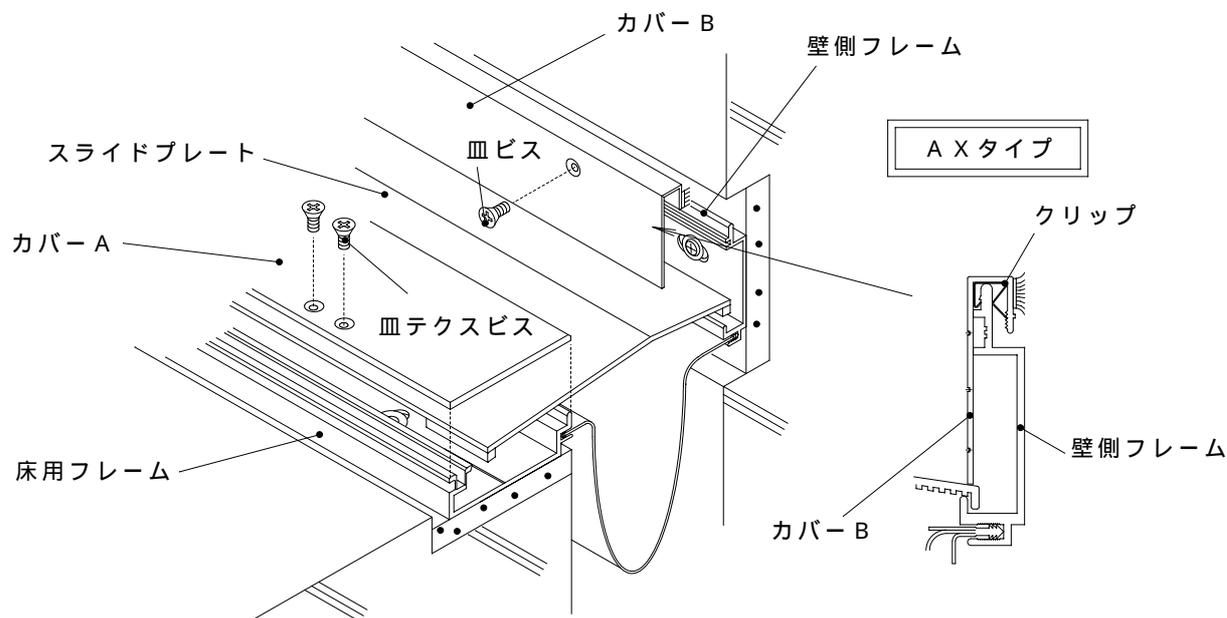


図 8

カバービス止め時の注意事項

カバー A, B をビス止めするとき両端からビス止めしていくと真中（中央部）にしわあよせがきてしまうため図 9 に示すように端から順にビスどめを行います。

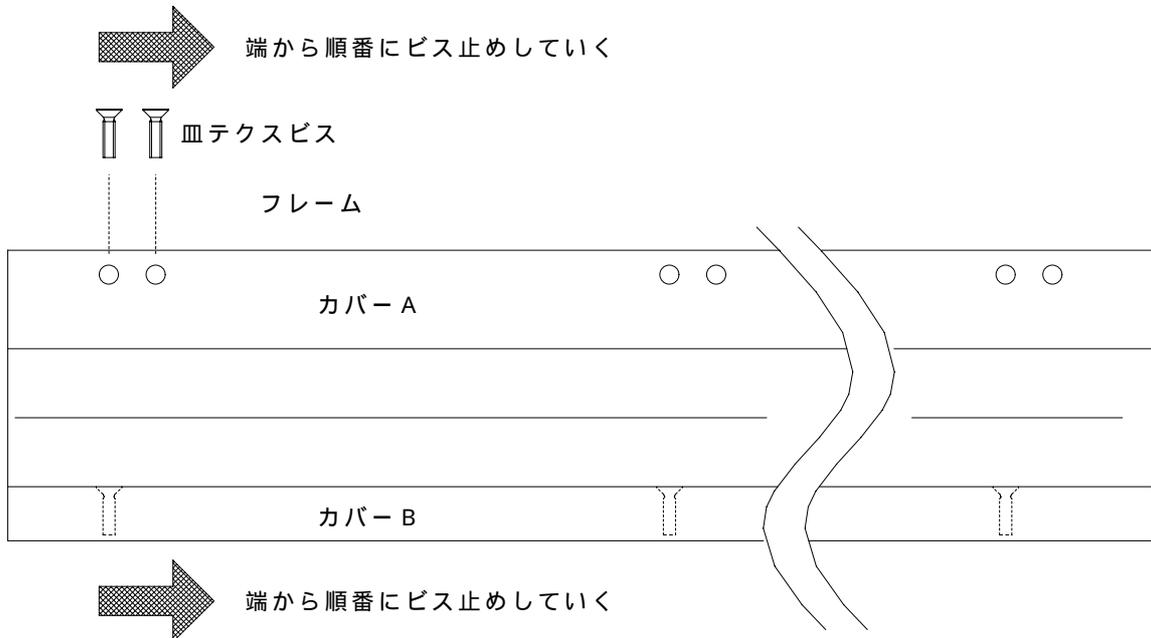


図 9

6. コーキング

壁面とカバーの隙間にコーキングを行います。（図10）

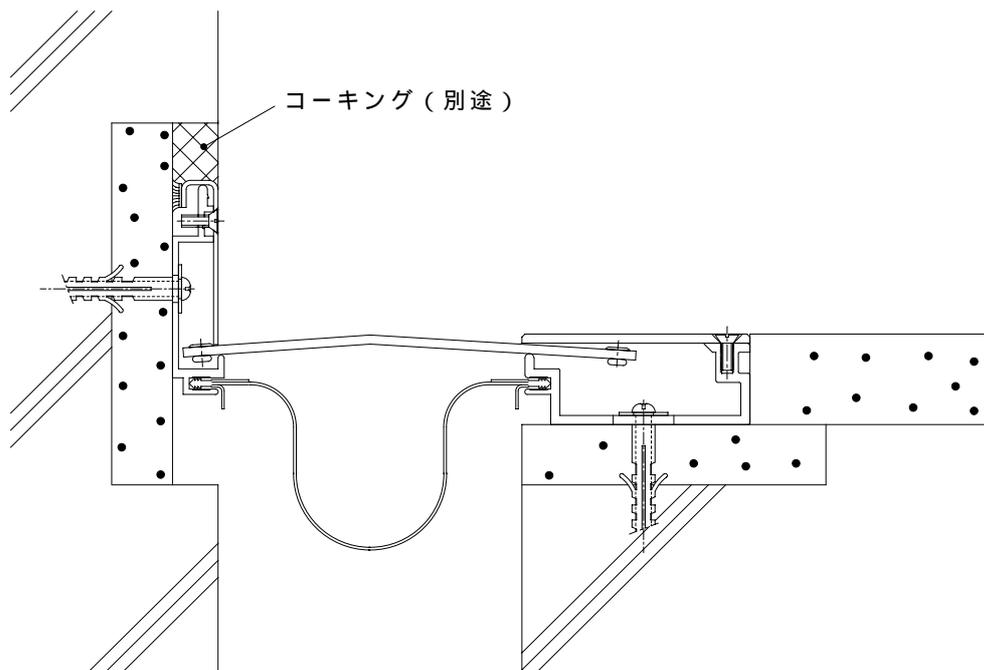


図 10